



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社ALiNKインターネット 上場取引所 東
 コード番号 7077 URL https://www.alink.ne.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 池田 洋人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 高杉 雄介 (TEL) 03-6907-0158
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	689	—	61	—	76	—	70	—
2024年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 70百万円(—%) 2024年2月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	39.01	37.78
2024年2月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2025年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	1,835	1,674	91.2
2024年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 1,674百万円 2024年2月期 一百万円

(注) 当社は、2025年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期の数値を記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	895	—	53	—	73	—	59	32.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社エンバウンド、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期3Q	2,136,900株	2024年2月期	2,136,900株
2025年2月期3Q	330,068株	2024年2月期	342,068株
2025年2月期3Q	1,803,777株	2024年2月期3Q	1,794,832株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大などで緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、金利や為替変動による内外経済の先行きや物価上昇の長期化などの要因もあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは“未来の予定を晴れにする”を経営理念として、主力サービスである天気予報専門メディア「tenki.jp」を一般財団法人日本気象協会との共同事業として運営しております。

tenki.jp事業においては、安定的なPV(ページビュー)数の増加とPV当たり広告単価の維持に取り組んでまいりました。

また、2024年5月に株式会社エンバウンド(以下、「エンバウンド」という。)の株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「IPプロデュース事業」を開始いたしました。エンバウンドは地域活性化プロジェクト「温泉むすめ」のコンテンツプロデュースを行っており、全国の温泉地との取引関係を発展させてきたことから、地域経済とユーザーを繋ぐハブ機能を担うことができる等の優位性を有しております。なお、エンバウンドは、みなし取得日を2024年5月31日としているため、第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高689,422千円、営業利益61,873千円、経常利益76,582千円、親会社株主に帰属する四半期純利益70,358千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(tenki.jp事業)

当第3四半期連結累計期間のPV数は、前年同期比112.5%の50億PVとなり、堅調に推移いたしました。特に、8月は、東日本太平洋側の月降水量が、8月として1位の多雨となる(統計開始1946年)などの影響もあり、単月での過去最高PV数を記録いたしました。

また、PV当たり広告単価は、依然として低迷基調となりましたが、2024年7月にGoogle社のWebブラウザのChromeにおける3rd Party Cookieの利用廃止が撤回されたこともあり、前年同期比100.0%を維持することができております。

費用面に関しては、将来の売上高及び利益の向上を目的として、新たな収益モデルの構築に向けた人件費や開発費等の先行投資を行っております。また、「tenki.jp」の認知度向上施策として、テレビドラマ「ブルーモーメント」との番組連動CMを放映しております。

この結果、売上高514,454千円、セグメント利益237,037千円となりました。

(IPプロデュース事業)

第1四半期連結会計期間において、「温泉むすめ」のコンテンツプロデュースを行う株式会社エンバウンドの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「IPプロデュース事業」を開始いたしました。温泉地でしか購入できない「温泉むすめ」のグッズ販売等は、計画に対し順調に推移いたしました。株式を取得したことによる取得関連費用25,000千円やのれん償却額16,840千円を計上したことなどにより、売上高102,473千円、セグメント損失57,323千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、主力であるtenki.jp事業以外の事業領域の拡大のため新規事業への参入を図っており、太陽光コンサルティング事業及びダイナミックプライシング事業を進めております。太陽光コンサルティング事業につきましては、太陽光発電設備のセカンダリー市場において、一時的に太陽光発電設備を保有することにより、

売電収入を得ております。また、ダイナミックプライシング事業につきましては、当該事業に先立つPoC（実証実験）として、首都圏においてレンタルスペースの運営を行っております。

この結果、売上高72,494千円、セグメント利益37,121千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,835,166千円となりました。

流動資産は1,511,435千円となり、主な内訳は、現金及び預金769,498千円、売掛金及び契約資産194,432千円及び短期貸付金518,327千円であります。

固定資産は323,730千円となり、主な内訳は、のれん226,200千円、敷金及び保証金40,299千円であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、160,916千円となりました。

流動負債は160,916千円となり、主な内訳は、買掛金27,081千円、未払金18,512千円、未払法人税等42,442千円、未払消費税等28,258千円及び契約負債20,737千円であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,674,250千円となりました。

主な内訳は、利益剰余金1,688,759千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年10月15日に公表の業績予想から変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	769,498
売掛金及び契約資産	194,432
商品	2,457
貯蔵品	183
短期貸付金	518,327
その他	26,534
流動資産合計	1,511,435
固定資産	
有形固定資産	17,196
無形固定資産	
のれん	226,200
無形固定資産合計	226,200
投資その他の資産	80,334
固定資産合計	323,730
資産合計	1,835,166
負債の部	
流動負債	
買掛金	27,081
未払法人税等	42,442
賞与引当金	1,800
資産除去債務	5,697
その他	83,894
流動負債合計	160,916
負債合計	160,916
純資産の部	
株主資本	
資本金	138,087
資本剰余金	173,851
利益剰余金	1,688,759
自己株式	△326,582
株主資本合計	1,674,116
新株予約権	133
純資産合計	1,674,250
負債純資産合計	1,835,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	689,422
売上原価	309,753
売上総利益	379,668
販売費及び一般管理費	317,795
営業利益	61,873
営業外収益	
受取利息	18,770
その他	3,761
営業外収益合計	22,531
営業外費用	
不動産賃貸費用	7,805
その他	16
営業外費用合計	7,821
経常利益	76,582
特別利益	
保険解約返戻金	54,354
特別利益合計	54,354
税金等調整前四半期純利益	130,937
法人税、住民税及び事業税	62,075
法人税等調整額	△1,496
法人税等合計	60,579
四半期純利益	70,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,358

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	70,358
四半期包括利益	70,358
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	70,358

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	tenki.jp 事業	IPプロデュ ース事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	514,454	102,473	72,494	689,422	—	689,422
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	514,454	102,473	72,494	689,422	—	689,422
セグメント利益又は損失 (△)	237,037	△57,323	37,121	216,834	△154,961	61,873

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△154,961千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年5月10日に株式会社エンバウンドの株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結累計期間においてのれんが235,760千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「tenki.jp事業」の単一セグメントとしておりましたが、当第3四半期連結累計期間より株式を取得し子会社化した株式会社エンバウンドを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「IPプロデュース事業」を追加しております。また、「tenki.jp事業」における新規事業開発を各セグメントから切り離し、新規事業開発の解像度を向上させることを企図し、新たに「その他の事業」を報告セグメントに追加いたしました。なお、「その他の事業」は、ダイナミックプライシング事業及び太陽光コンサルティング事業であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	
減価償却費	5,593千円
のれんの償却額	17,960千円